# 入居前に想像していたよりも、ずっと多くのお付き合いが広がりました

佐倉〈ゆうゆうの里〉

**上林 信雄様（81歳）・美智子様（77歳）平成30年9月　夫婦入居**

旅の思い出の一つ、那智観光

## 二人は北海道出身、結婚してから東京へ

**ご主人**　夫婦共に北海道の出身です。結婚は確か前のオリンピックの年だったかな。

**奥様**　オリンピックの次の年よ。だから結婚して56年になるのね。とにかく主人は真面目な人。それに背が高いでしょ！どこにいても目立つの。社交的でね。お酒を飲んでみんなでワイワイするのが好きだから、いつも人に囲まれていましたね。

**ご主人**　女房は我慢強い性格ですね。結婚してからもバレーボールやっていてね。いつも一生懸命で愚痴を言わない人です。

**奥様**　趣味で洋裁とかレザークラフトとかいろいろ習い事をしましたが、主人はいつも私の好きようにやらせてくれました。それは、それは感謝しています。

**ご主人**　結婚してまもなく東京に転勤が決まりました。まだ青函連絡船の時代で、東京は遠いという印象があったね。東京・蒲田に引っ越してからは、転勤もなくずっと東京を拠点として働きました。

## 共通の趣味は旅先のお酒とグルメ

**ご主人**　運輸関係の仕事ですからあちこちの地方への出張も多かったですね。その土地の美味しいものも食べられたし。日本中にいい街がたくさんありますよ。

**奥様**　そうして、いつの間にか旅行を楽しみ、旅先の美味しいものと地酒をいただくことが共通の趣味となりました。

**ご主人**　その土地に行くと、なんか気になる店がある。「ちょっと入ってみようか」ってなるんです。

**奥様**　でも、殆ど和食のお店じゃなかったかしら。魚料理は外せない。

**ご主人**　例えば北海道の積丹半島で11～2月頃に獲れる八角と言う魚。姿かたちはグロテスクでも、刺身は脂がのってコリコリして美味しい。この魚は味噌焼きにしてもらって食べても最高です。

**奥様**　丹後に行った時には、カニ料理の印象が強くて、どこの旅館に泊まったかよく覚えてないくらい（笑）。

## 他のホームを見学した時と、主人の様子が全然違っていました

**ご主人**　揃って老人ホームに入ることは決めていましたが、本気で検討を始めたのは定年後の60代後半。いずれ介護を受けなきゃならない時が来ても、お互いが困らないように介護がしっかりしているホームを選ぼうとね。

**奥様**　それから東京に近いホームがいいと言っていたよね。

**ご主人**　そうそう。月に一回東京で趣味の囲碁仲間が集まるので、東京への行き来がしやすいことも条件の一つでした。ここの第一印象は、緑に恵まれた良いところ。それと職員の方の挨拶と礼儀正しさが印象に残りました。

**奥様**　私たちの姿を見て遠くの職員の方も挨拶してくださってとても嬉しかった。お食事も美味しかった。主人が直ぐに気に入ったことがわかりました。他のホームに行った時と様子が全然違っていましたから。私も同じ気持ちでした。

## とにかく多くの人が行き交い、お付き合いが生まれる

**ご主人**　この中では、職員の方や入居者の方とか、とにかく多くの人が行き交いますね。私は大浴場で入居者の方と話す機会が多いですね。裸の付き合いってやつですね。

**奥様**　そうね。一歩外に出ると必ず誰かに会って挨拶したり、立ち話をしたり。入居前より毎日たくさんの人と話をするわ。私がショールを編もうと思った時に、せっかくだから編み物サークルに入って教えていただこうと思い立ち、Mさんとお会いして本格的な編み方を教えていただきました。知らない編み方をいくつも教わりました。今では秋の祭典に作品を出展できるまでになり、感謝しています。

**ご主人**　入居して3年ですが、一年少し経った時に新型コロナの緊急事態宣言が出されて、世の中がすっかり変わりました。いい時に入居しましたね。その安心感は何ものにも代え難いです。